



はぜ並木



No. 7

令和2年 12月1日 (火)

文責 校長 米倉 典子

寒くなってきましたが、子ども達の中には半袖で過ごしている子もいます。そして、運動場で元気に遊んでいることを嬉しく思います。学校内では、ストーブを設置し、冬支度をすませたところ

です。「光陰矢の如し」…その通りにあつという間に師走を迎えました。2学期は特に、保護者の皆様に色々な面でご理解・ご協力をいただき、本当に感謝しております。学校重点目標の「自ら考え、やり抜く子どもの育成」に向かって、様々な学校行事や教育活動において、皆様のご支援をいただきながら、子ども達のがんばり、やり抜いている姿を見ることができたと思っています。

しかしながら、福岡県においても、再び徐々に新型コロナウイルスの感染が広がってきております。風邪等の予防のためにも、再度、ご家庭でも「手洗い・うがい・マスクの着用・換気」を徹底して、今後も健康管理・感染等の予防に努めていただきますようお願い致します。

はぜの木祭りで、堂々と発表した子ども達に拍手！



【6年生の堂々とした発表】



11月7日のはぜの木祭りについて、多くの保護者の方から、温かい感想を寄せていただきました。とても有難く、職員もパワーをいただきました。どうもありがとうございました。

【保護者の感想】

- 子ども達が元気に生き生きと発表して、素晴らしかったです。
 - アイデアがよく、子ども達の成長にびっくりしました。
 - 全員でひとつのものをつくる団結力に感動しました。
 - 新型コロナがある中で、時間を分け、駐車場や入り口の混雑もなく、椅子も間隔がとられていて、すごく配慮して開催され、感謝でいっぱい
- 等

一人ひとりの人権を大切に 人権週間 12月4日～12月10日

わが国では、12月4日から12月10日を「人権週間」と定めています。

そして、学校では、一人ひとりの人権を大切に、差別を解消していくための教育や啓発活動に取り組むようにしています。

この機会に、就職活動に係る「統一応募用紙」からの解放運動について紹介します。この内容は、市内中学校で学習として取り上げられていますので、保護者の方々にも知っておいていただければと思います。

【統一応募用紙改定 ～就職差別撤廃の取組～】

- 1996年 全国高等学校統一応募用紙の改定
 - ・「本籍」欄が都道府県のみ。「家族構成」欄・「胸囲」「色覚」欄が削除。
- 2005年 全国高等学校統一応募用紙の改定
 - ・「保護者氏名」欄の削除。
- ※ 保護者欄は、面接で家族関係や親の職業などを聞くきっかけになるとの理由で削除された。本人のことではない理由での就職差別につながるからである。

また、本年度も、子ども達により確かな「学力」を保障するために、教員配置の要求活動に取り組んでいきます。12月4日のPTA集会でもお知らせがあると思いますが、どうぞ趣旨をご理解いただき、署名活動にご協力をお願いします。